

地域のシンボルタワー

足羽東保育園の子どもたちは勿論、地域の子どももお年寄りの方々も、保育園で楽しく過ごしていたきたいという願いから、保育園の増築を行いました。平成22年11月に完成した新センターの外観は「光、希望、明るい未来」をイメージした虹がモチーフになっており、完成後、さまざまな取り組みが行われています。



『ふれあいホール』で集団遊びを楽しむ子どもたち

夢心地の空間

1月24日に音楽講師の金巻さんと、絵本の読み聞かせボランティアの東さんを迎え『お話と音楽の世界』を行いました。

待ち望んでいたホールに初めて入った子どもたちは「わあ広い！」と歓声をあげ、目を輝かせながら走り回り、新センターの探索に大はしゃぎでした。

保護者の方からは「ゆったりとした空間で居心地が良いです。木で造られていて温もりを感じます」など、子どもたちの新しい生活の場に、大変喜ばれていました。



流れるような口調の朗読と、絵本に合わせたピアノのメロディや歌声がホール全体に広がり、子どもたちはそのしつとりとした雰囲気引き込まれ、穏やかな表情で見入っていました。また、音の響きに自然と体をゆすり、心地良さと楽しさを全身で感じていました。

演奏後お二人に、保育園で行いたいと思われた理由についてインタビューをしました。

金巻 「以前から、足羽東保育園の子どもたちにこの演奏を見てもらえたらと思うていました。新センターが完成し、念願の演奏会

を開くことができ、本当にうれしかったです。とても綺麗な場所で演奏ができて、子どもたちが喜んでる姿から、たくさんエネルギーをもらいました」

東 「昨年から金巻さんと演奏を行い、お年寄りの方や子どもさんにも大好評で。みなさんとお話の世界で一体になれたと感じました」

お二人は終始、笑顔で話をされていました。新センター完成が演奏会を開くきっかけとなり、お二人とのつながりができました。



広々としたステージで、生演奏と朗読を披露する金巻さん(左)と東さん(右)

心が通い合う空間

2月24日には、保育園の地区にある東大味町の老人会『ほのぼのサロン』の方々をお招きし、交流を行いました。ほのぼのサロンの方々は、保育園が新センターを建てることを知り『この園舎が建ったら、ぜひ保育園に来て子どもたちと遊びたい』という期待が膨らんだそうです。園としても、お年寄りの方をお招きし、交流をしたいと願っており、今回の交流が実現しました。

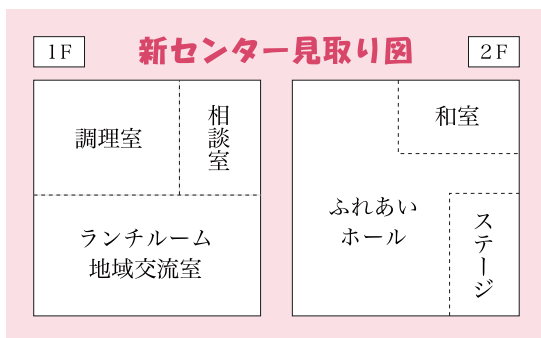
当日は、ふれあいホールであやとりや折り紙遊びを楽しみました。また、肌と肌との触れ合いができるよう、ダンスも行いました。その後、ランチルームで給食も一緒に食べ、お年寄りの方々は「みんな元気でいっぱい食べるの。見てるだけで寿命のびたわ」「人なつっこくてほんと可愛い」と、子どもたち

に笑顔で話しかけられていました。帰られる時には「みんなのことが好きやわ。また来るので」「待ってるね」と握手をして、別れを惜しんでいました。その姿を見て、職員もとても優しい気持ちになりました。



こうした交流はすべて、子どもたちの豊かな心の育みにつながっていきます。また、地域の方も、子どもたちとの触れ合いを喜んでおり、温かい交流の輪が今まで以上に広がっています。

今後も、地域の中の保育園として、子育て就労支援（一時預かり保育子育て相談・保育園開放）の充実や、母親同士の語らいの場、地域住民との集いの場の提供など、地域が求める支援センターを目指していきます。



「保護者の方が、職員にいつでも相談できるようにしていきたい」



「保護者対象に、手作りおやつ教室を開きたい」



「入園前の子を招いて試食会がしたいな」

みんなの広場
職員が望む、新センターでの新しい取り組みをご紹介します